

くらしの願い、まっすぐ市政に届けます

第13号

2020年
9月30日

井本 有一
☎080-3831
-3159



イモト 有 一 ニュース

日本共産党市会議員

9月11日から9月定例議会が開かれています。前回は人数制限がされて、私は一般質問ができませんでしたが、今回は共産党議員団6人全員が質問しました。



9月16日の一般質問

動物愛護寄付金を目的外使用のてん末

和歌山市がインターネットのクラウドファンディングで募った動物愛護のための寄付金を、印刷代や自動車保険料に充てている内容の資料を市議会の厚生委員会に提出したために、寄付金本来の目的に反して使用していると問題になりました。

市の健康局長は、この使い方が妥当であったと委員会で答弁したため、インターネット上で批判が相次ぎ、テレビのワイドショーでも取り上げられました。

一般質問 IRカジノ

今年5月に世界最大のカジノ企業であるラスベガスサンズが日本への進出を断念すると発表しました。

新型コロナウイルスが世界に広がる中、カジノに客を詰め込み高い収益をあげ、その収益で巨大会議場などを運営するビジネスモデルは通用しなくなっています。

感染症対策や来場者数の見込みなど何も見直されて

おらず、ギャンブル依存症への不安が市民から大きく上がっているカジノの誘致はストップをするべきです。

質問 各地で誘致見直しや凍結が起きている中、市長はIRカジノの誘致についてどのように考えているか。

尾花市長 観光客の増加、経済発展、コロナからの復興に必要と考えている。

この事態を受けて、28日の厚生委員会に市長が出席し、厚生委員会に提出された資料が間違っており、それに基づいて局長が誤って答弁をしたとして、陳謝しました。

この間違った資料は、年度末に使い切らなければならぬと職員が勘違いし、本来一般の予算から支出されていたものを寄付金から支出したと虚偽の資料を作成して委員会に提出されていたということです。

勘違いで虚偽の資料作成も理解しにくいのですが、本来の犬猫への避妊手術のための寄付金という目的がないがしろにされた寄付金管理のずさんさが一番の問題点ではないでしょうか。

一般質問 障害者向け市営住宅

障害者向け市営住宅では、40年以上前に建てられた風呂やトイレの構造がそのまま使われており、改修を要望しました。



菖蒲が丘団地（昭和49年建築）の肢体障害者向け住宅浴室

古い構造だと、湯船の手前の台の上で体を洗わなければなりません。が、新しく建設されている住宅は、直接湯船に入ることができ、体を洗う場所も制限されません。

また、左足をなくした障害者の住人から、トイレが低すぎて使いにくい。改修してほしいという要望が出されています。

質問 トイレが使いづらく、改修してほしいという要望に対して、どう対処したか。

都市建設局長 洋式便器に改修することは許可できると回答した。

質問 市営住宅も障害の度合いに応じて改善するべきではないか。

都市建設局長 個別の入居者に対応した住居の提供や改修は難しい。

4年前にできた障害者差別解消法では、行政機関は実施にともなう負担が過重でないときは、障害の状態に応じて、必要かつ合理的配慮をするように努めなければならぬとなっています。

今は、個別の対応をしなければならぬ時代になっているのです。

マイドキュメント

先日、天体望遠鏡で星空観察の機会がありました。当日はすこし雲がありましたが、月や木星、土星の環もよく見えました。小型の望遠鏡でもこんなに見えるのだと驚きました。

調べてみると今は地球から見たい星の傾きが大きく、環がよく見える時期だそうです。

中学生のころに、天文部に入って流星観測や写真を撮ったりしていました。

望遠鏡は以前持っていたのですが、大きくて重くて何度か観測しただけで手放してしまっていました。

今はスマホや雑誌などで木星や土星の鮮明な姿が見えますが、やはり直接望遠鏡を向けて実物を観るのはいいものだなと思います。また手に入れて、天体観測をしてみたいと思っています。